

間9月4日~10日を「救急医療週 れました。 医療を正しく理解し、知識を深め てもらうことを目的として制定さ 昭和57年に、この日を含む一週 皆さんに救急業務や救急 「救急の日」です。

紹介します。 急の出動状況や日頃の訓練などを 今月号では、 市消防署の体制、 救

0件となっています。 ています。 員82人の大幅な増加となっ 急の出動件数76件、 病849 平成22年と比較すると救 一般負傷 、搬送人 1 5

います。 2台が「高規格救急車」で、 置が行える資機材を積んで 救急救命士による高度な処 台配備しており、そのうち 消防署には、救急車を3

市消防の体制

は

に出動することがあります。 平成23年中の重複救急出 救急車が、 日常的に同時

【増える出動件数】

設置されたのが始まりです。

消防職員は、一般管理事

4月に消防本部と消防署が

本市の消防は、

昭和24年

員 1, 均3.7件を超える出動件 78件(過去最高)、 動件数は、火災15件、 活動19件となっています。 る稚内消防署管内の災害出 救急出動件数は、 平成23年中の管内におけ 303人で、 1 日 平 、搬送人 1, 3 救助

1,302件

1,221人

12件

10人

います。

する消防署職員(54名)が

消防活動・救急活動に従事 消防本部職員(8名)と、 事務などの事務仕事をする

消防団事務、

予防行政

行う救急救命士は、

また、高度な救急処置を

名

(うち女性1名)

です。 現 在 11

時45分から翌日の8時45分

消防署の職員は、

午 前 8

年間救急

出動件数 年間救急

搬送人員

1日の最多

出動件数 1日の最多

第一課と警防第二課の2交 各種訓練 までの24時間勤務で、 日常の業務として、 制になっています。 を行っています。 (救急、 、救助、 警防

平成21年 平成22年

1,272件

1,202人

10件

10人

活動・救急活動のほかに車 両機械器具及び無線の点検、

【業務の体制

1,378件

1,303人

12件

12人

数になっています(表)。 主な種別については、 (表) 救急出動状況 平成23年

> 6 9 回 となっています。 動回数は、 3台の出 2台の出動が1 |動が11|

口

います。 場合、名寄・ の医療機関に救急搬送して 院で対処できない傷病者の 救急出動には、市内の病 旭川・札幌へ

状です。 出動にもつながっている現 時間を必要するため、 この場合の搬送には、 重複

加しています。 成22年と比較すると29件増 名寄38件の合計55件で、平 送は、札幌4件、旭川13件、 平成23年中の管外救急搬

の適正利用を皆さんにお願 とする方のために、救急車 されています。本当に必要 救急車は、 緊急用に配備

【もしもに備える訓練】

行っています。 日頃からさまざまな訓練を 消防署では、 災害に備え、

助訓練、 た中央地区大火災を教訓に 平成14年6月29日に発生し 訓練は、 潜水訓練のほか、 年間を通した救



いします。

【事故防止の査察】

暮らせるよう、火災事故を の査察を行っています。 世帯の査察を行っています。 般家庭、および独居高齢者 未然に防止するため、現状 市民の皆さんが安心して 火対象物の査察や、

【普及・啓発の活動】

場所で適時に行っています 啓発活動など、さまざまな 救急の日、 住宅火災警報器設置 119番の

問い合わせ/

23-2176 稚内消防署 しています。 6 29消防署·消防団合同

難事故を想定した潜水訓練 用的な想定訓練を行ってい など、基本的な訓練から応 を使用したロープ渡り、 救助隊の訓練は、 訓

長

【講習および指導】

内学校などの避難訓練指導 を行っています。 手当の講習、上級・普通・ 般救急法の講師派遣、 消防署職員による、応急 市

年5月31日までと決まりま 周波数の使用期限が平成28

市では、平成27年度を目

訓練では、より実践に近い ます。また、救急救助合同 状況を想定した訓練をして 海 棟き 通信網で、 どが寸断されてしまいます 消防救急無線は、 ライフラインのほとん 震や津波などの災害時

消防署

対応できるよう、整備して ル化を行い、様々な災害に 標に消防救急無線のデジタ

いきます。

率のよい通信方式の導入が が一部改正され、 必要となっています。 平成15年10月に「電波法 アナログ

無線需要が増加し、より効 度情報化社会の発展により います。しかし、 動には欠かせません。 と災害現場を結ぶ強い無線 アナログ方式で運用されて 現在、 消防救急無線は、 災害時の救急活 近年の高

使える電波の数が増え、 音声が鮮明で聞き取りや すくなります。

出動時の氏名・電話番号 層強化できます。 個人情報保護をより一

新たなニーズへの利用が できるようになります。

